

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業（精神障害分野））  
分担研究報告書

「630 調査の迅速化に関する検討」

分担研究者 西 大輔（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神保健計画研究部・室長）

研究協力者 山之内 芳雄（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神保健計画研究部・部長）

研究要旨：630 調査はわが国の精神保健福祉のモニタリングにおいて貴重な資料となってきたが、計画の進捗管理に課題があることを指摘されていた。その要因として、調査依頼機関の回答期間延長や回答エラーの多さ、調査票の形式の不統一、回収や確認の経路が非常に長いこと等が考えられたため、本研究では 630 調査の調査形式を最適化することで調査プロセスを迅速化することを目的とした。集計表から個票への変更、調査票の紙媒体から電子媒体への変更等を通して、調査フローおよび結果公表までの期間を大幅に短縮することができた。また、調査形式の大幅な変更にもかかわらず、病院の回収率は全国平均 97.6%と高く、迅速化が達成できたと考えられた。

A. 研究目的

630 調査はわが国の精神保健福祉のモニタリングにおいて貴重な資料となってきたが、入手可能な最新のデータが 3 年前であり、計画の進捗管理に課題があることを「これからの精神保健福祉のあり方に関する検討会」で指摘されていた。その要因として、調査依頼機関の回答期間延長や回答エラーの多さ、調査票の形式の不統一、回収や確認の経路が非常に長いこと等があり、それらの改善が急務とされた。

そこで、本研究では 630 調査の調査形式を最適化することで調査フローならびに結果公表までの期間を大幅に短縮することを目的とした。

B. 研究方法

これまでの 630 調査では、各医療機関が在院患者について「入院形態×年齢階級×在院期間」「疾患分類×年齢階級」「疾患分類×入院形態」のような組み合わせでそれぞれ集計作業を行い、その集計結果を提出することになっていた。しかし、何度も集計作業を各医療機関で行うことから、回答期間の延長や回答エラーが発生していた可能性も考えられた。

このため、平成 29 年度からは 6 月 30 日午前 0 時時点の各在院患者について、病棟入院料・年齢・性別・主診断・入院年月・

入院形態・隔離指示の有無・身体拘束指示の有無・患者の住所地（病院の所在地と異なる自治体の場合は自治体名を記載）について回答を依頼し、集計作業は委託会社が一括して行うこととした。これによって、集計エラーの問題の解消を図った。

また、これまでの 630 調査では、紙媒体の調査票と電子媒体の調査票が混在しており、調査票の返送も郵送やメールなど複数の方法があり、確認に時間を要していた。平成 29 年度からは、基本的にすべての調査票を電子媒体（エクセルファイル）に統一し、専用ホームページから回答済みの調査票をアップロードしていただくこととした。これによって回収・確認作業を効率化させた。

さらに、回答ミスや回答漏れを減らすため、いくつかの選択肢から回答を選ぶような質問（たとえば性別など）に関してはプルダウンから選択するような形式にした。

回答期限については、これまでは悉皆調査であることを重視し、期限を過ぎた後でも回答を受理してきたが、今年度からは、6 月最終週に調査票を各都道府県・政令市に配布し、9 月 29 日に回答期限を設定し、以降の回答は原則受け付けないこととした。

なお、電子媒体の調査票の設計、医療機関や自治体からの調査票回収に用いたアップロードサイトの作成・運用および結果の

粗集計については日本アイ・ビー・エム株式会社に委託した。

(倫理面への配慮)

調査様式の変更にあたっては「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を念頭に置いた。氏名・年齢は調査項目に含めなかった。

#### C. 研究結果

調査形式を大幅に変更し、約3か月間という回答期限を設定したにもかかわらず、病院に関しては全国平均97.6%という高い回収率を得た。集計結果に関しては「精神科医療提供体制の機能強化を推進する政策研究」における「平成29年度精神保健福祉資料」に掲載した。

#### D. 考察

集計表から個票への変更、調査票の紙媒体から電子媒体への変更等を通して630調査の調査形式を抜本的に変更し、そのことで調査のフローおよび結果公表までの期間を大幅に短縮することができた。また、高い回収率を保つこともできた。

そのため、自治体が630調査の結果を医療計画等に活用する動きがあり、本研究の行政的意義は高いと考えられる。

#### E. 結論

調査形式の大幅な改善を行い、高い回収率を保ちつつ調査フローおよび結果公表までの期間を大幅に短縮し、630調査の迅速化を達成した。

#### F. 研究発表

##### 1. 論文発表

- 1) 西大輔, 臼杵理人, 萱間真美, 山之内芳雄: 630調査と精神保健福祉資料. 日本精神病院協会誌, 36(11):35-41, 2017.

##### 2. 学会発表

なし

#### G. 知的財産権の出願・登録状況

該当せず